

秋田大学大学院教育学研究科

心理教育実践専攻

令和6年度（第I期）入学試験問題

心 理 学

**注意事項**

- 1 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題冊子には、問題用紙が4ページ、解答用紙が4ページあります。
- 3 問題は4題あります。4題すべてに解答しなさい。
- 4 問題冊子(問題用紙と解答用紙)の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 監督者の指示に従って受験番号をすべての受験番号記入欄に記入しなさい。
- 6 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 8 試験終了後、解答用紙を除く問題冊子は持ち帰りなさい。

## 心理学 問題用紙

### 臨床心理学 問題 I

労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度（平成 26 年 6 月 25 日公布，平成 27 年 12 月 1 日施行）に関して，制度の目的と概要，実施における留意点，結果の活用方法について述べなさい。

### 臨床心理学 問題 II

システム論的家族療法の代表的な学派から複数の理論をあげて，それらの差異を明確にしながら説明しなさい。

（次ページの「心理学の基礎的領域 問題 I」へ続く）

心理学の基礎的領域 問題 I

枠内の説明を読んで、下の問 1 から問 3 に答えなさい。

**4 枚カード問題**  
下図の 4 枚のカードを実験協力者に見せ、「カードの片面のアルファベットが母音であれば、裏面は偶数である」と伝える。この規則が守られているかを確認するためには、4 枚のうちどのカードを裏返して調べる必要があるかを選択させる（ただし複数枚のカードの選択も可とする）。

E                  K                  4                  7

**飲み物問題**  
実験協力者には、警察官になったつもりで「お酒を飲んでいるなら、20 歳以上でなければならない」という規則の取り締まりをすと伝える。下図の 4 枚のカードには、調べた相手 4 名について片面には年齢、もう片面には飲んでいる物が書かれている。この 4 名について規則が守られているかを確認するためには、4 枚のうちどのカードを裏返して調べる必要があるかを選択させる（ただし複数枚のカードの選択も可とする）。

ビール                  コーラ                  22歳                  16歳

問 1

下の表は、20 名の実験協力者に 4 枚カード問題を出題し、それぞれのカードについて「裏返す」と選択した人数の結果だとする。4 枚カード問題の正解は E と 7 のカードだが、一般に奇数カード（枠内の図では 7）を選択する人数は、偶数カード（枠内の図では 4）を選択する人数よりも少ない傾向がある。この理由について説明しなさい。

表 カードを選択した人数 (N=20)

カードの記載	E	K	4	7
選択した人数	19 人	1 人	9 人	4 人

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題 I 問 2」へ続く)

問 2

飲み物問題は4枚カード問題と論理構造が同じ同型問題であるため、正解は「ビール」と「16歳」のカードである。ここで、問1の実験とは異なる新しい実験協力者20名に対して飲み物問題を出題し、それぞれのカードについて「裏返す」と選択した人数を調べ、4枚カード問題の結果と比較する。この実験はどのようなことを明らかにする目的なのか、説明しなさい。

問 3

問2の実験結果では、飲み物問題の正答率が4枚カード問題の正答率よりも高かったとする。この結果が統計的にも有意であるかを検証するにはどのような手続きで分析するのか、検証する仮説、独立変数、従属変数、統計的検定の方法について説明しなさい。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題Ⅱ」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題Ⅱ

乳児期から幼児期前期におけるヒトの音声コミュニケーション行動について、問1と問2に答えなさい。

問1

下の表の①～⑤にあてはまる、ヒトの音声コミュニケーション行動の変化について記載しなさい。

目安となる年齢	ヒトの音声コミュニケーション行動の変化
誕生	泣く (啼泣)
6週	①
6ヵ月	②
8ヵ月	イントネーション・パターン
1歳	③
1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> 歳	④
2歳	⑤
2 <sup>1</sup> / <sub>4</sub> 歳	疑問, 否定

問2

ヒトの音声コミュニケーション行動がどのようなプロセスを経て発達するのか、説明しなさい。









